

## 議 事 録

- 1 会議の名称 令和4年度第1回水戸市都市交通戦略会議全体会議
- 2 開催日時 令和4年7月28日（木） 午前10時00分から午後12時15分まで
- 3 開催場所 水戸市役所4階 政策会議室
- 4 出席した者の氏名
- (1) 委員
- (名簿順) 茨城大学 金 利昭  
東日本旅客鉄道（株）水戸支社総務部企画室 小川 郁夫  
鹿島臨海鉄道（株） 栗田 茂樹  
茨城交通（株） 任田 正史  
関東鉄道（株） 武藤 成一  
関東グリーンバス（株） 森作 久男（代理）  
ジェイアールバス関東（株）水戸支店 宮内 章一  
（一社）茨城県バス協会 澤島 政志  
（一社）茨城県ハイヤー・タクシー協会 服部 透  
水戸市住みよいまちづくり推進協議会 堀井 武重  
公募市民 米倉 彩乃  
公募市民 関根 秀隆  
国土交通省関東運輸局茨城運輸支局 赤木 祐道  
国土交通省関東運輸局茨城運輸支局 國下 裕司  
茨城県政策企画部交通政策課 富山 勝彦（代理）  
茨城県土木部都市局都市計画課 白戸 元文（代理）  
茨城県警察本部水戸警察署 星野 圭祐（代理）  
水戸市市長公室 小田木 健治  
水戸市建設部 大和 直文  
水戸市都市計画部 加藤 久人  
茨城交通労働組合 岡山 昌弘（代理）
- ※ 代理出席5名，欠席6名
- (2) 事務局 【水戸市市長公室交通政策課】  
課長 川上 悟，課長補佐 江幡 将行，係長 宮内一樹，  
主幹 伊藤 大貴及び主事 根本 浩徳

## 5 会議次第

### (1) 開会

### (2) 会長挨拶

### (3) 協議事項

議案第1号 役員の改選について

報告第1号 専決処分について（令和4年度水戸市都市交通戦略会議補正予算（第1号））

### (4) 報告事項

ア バス交通実態調査について

イ 関鉄グループバス共通 IC金額式定期券について

ウ 路線バス「常磐の杜線」の延伸について

エ 茨城Ma a S共通基盤の構築と公共交通運行データ利活用推進の中間報告について

オ みとMa a S（仮称）について

カ 令和4年度における1,000円タクシーの運行方針について

キ 水戸市内でのシェアサイクルの導入について

ク グリーンスローモビリティについて

### (5) その他

### (6) 閉会

## 6 配布資料

(1) 令和4年度第1回水戸市都市交通戦略会議全体会議資料

(2) 茨城Ma a S共通基盤の構築と公共交通運行データ利活用推進の中間報告について説明資料

(3) みとMa a S（仮称）について説明資料

(4) グリーンスローモビリティについて説明資料

(4) 令和4年度第1回水戸市都市交通戦略会議全体会議 出席者名簿

(5) 座席表

## 7 内容

	<p>※ 水戸市都市交通戦略会議規約第7条第1項に基づき、会長が進行を務めた。</p>
会長	<p><b>1 開 会</b></p> <p>はじめに、本日の会議の出席者数について、事務局から報告をお願いします。</p>
事務局	<p>本日は、定員27名中21名の委員の皆様にご出席又は代理出席をいただき、出席者数が定数の過半数となっています。</p>
会長	<p>事務局から報告があったとおり、出席者数が定数の過半数となっており、水戸市都市交通戦略会議規約第7条第2項の規定を満たし、本会議は成立しています。</p>

	次に、本会議につきまして、会議の内容から、冒頭から終了まで公開としたいと思いますが、よろしいでしょうか。
委員	[異議なしの声]
会長	ありがとうございます。では、本日の会議は公開といたします。 次に、議事録署名人を指名させていただきます。名簿の順により、____委員と____委員をお願いいたします。
	<b>2 協議事項</b>
	<b>議案第1号 役員の改選について</b>
会長	それでは、議事に入ります。 議案第1号「役員の改選について」、事務局から説明をお願いします。
事務局	[会議資料1ページに基づき、事務局から説明]
会長	ただいま事務局から説明がありましたが、いかがいたしましょうか。 皆様からの御提案がなければ、事務局から案を提示していただきたいと思いますが、よろしいでしょうか。
委員	[異議なしの声]
会長	それでは、事務局の考えはいかがでしょう。
事務局	会議資料2ページを御覧ください。事務局としては、役員全員の再任をお願いしたいと考え、お名前を入れさせていただきました。
会長	事務局から再任という案が出ましたが、いかがでしょうか。
委員	[異議なしの声]
会長	ありがとうございます。それでは、役員につきましては、全員再任ということで決定させていただきたいと思います。 次に、役員以外の委員の任期について、事務局から説明をお願いします。
事務局	本会議の委員につきましても、役員と同様、令和4年8月31日をもって任期が満了となります。事務局としては、関係機関の代表者として本日お集りの

<p>会長</p>	<p>皆様には、引き続き委員に就任いただきたいと考えております。</p> <p>なお、公募委員の方につきましては、令和4年6月9日から30日まで公募を行い、現在選考の準備を進めております。</p> <p>ただいまの事務局からの説明について、御意見、御質問はありますか。なければ、次の議案へ移ることといたします。</p> <p><b>報告第1号 専決処分について（令和4年度水戸市都市交通戦略会議補正予算（第1号））</b></p>
<p>会長</p>	<p>次に、報告第1号「専決処分について」、事務局から説明をお願いします。</p>
<p>事務局</p>	<p>[会議資料3ページ～6ページに基づき、事務局から説明]</p>
<p>会長</p>	<p>国からの補助金の交付予定額が、当初予定していた額よりも大幅に下がってしまったため、予定していた事業ができないことから、事務局はこのような措置を行ったとのこと。調査の内容等については、この後「バス交通実態調査について」の報告事項において事務局から説明いただきます。そのため、説明が前後してしましますが、委員の皆様には御了承いただければと思います。</p> <p>また、補足で説明いただきたいのですが、交付額が当初予定よりも大幅に下がってしまったのは、どうしてでしょうか。</p>
<p>事務局</p>	<p>事務局は、地域公共交通計画を策定する際の調査業務に対する補助として、国に対し補助金を申請いたしましたが、今年度においては、国の予算額に対して、全国の法定協議会からの申請額が大きく上回ってしまったため、国からの交付額が減額されることとなったと国の担当者から報告を受けております。</p>
<p>会長</p>	<p>当会議だけでなく、各自治体の法定協議会においても、同様に実態を把握したいと考えており、国への要望がたくさんあったのではないかと思います。水戸市と同じような状況に置かれているところが他にも多々あるであろうと思います。</p> <p>ただいまの事務局からの説明について、何か御質問はありますか。なければ、報告第1号は、承認することとしたいと思いますが、いかがでしょうか。</p>
<p>委員</p>	<p>（「異議なし」の声）</p>
<p>会長</p>	<p>異議なしとのことですので、報告第1号は、承認することといたします。議事は、以上となります。</p>

	<p><b>3 報告事項</b>  <b>バス交通実態調査について</b></p> <p>会長  ここからは、委員の皆様にお知らせする案件となります。  まず、「バス交通実態調査について」、事務局から説明をお願いします。</p> <p>事務局  [会議資料7ページ～10ページに基づき、事務局から説明]</p> <p>会長  先ほど事務局が説明したとおり、実態を調査するという事は非常に重要なことであり、同じような調査項目で経年変化を調査することも重要ですが、調査結果を踏まえてどのような施策を実施するかが問題となります。次の基本計画を策定するための材料となるものですから、そのための調査項目をよく考えていただきたいと思います。</p> <p>例えば「バスは必要か」という問いに対しては「必要です」という回答が多くなり、「バスはなくなると困りますか」という問いに対しては「困ります」という答えが大半になると容易に想定されます。その程度の調査結果から、どのような施策を実施していくべきかは見えてこないと思います。次の計画で、どのような対策をすべきか、それを表面的な意向だけでなく、本気度が伝わるような質問事項となると良いと思います。高いサービスを望むのであれば、それだけの負担を市民がしなければいけないというのもあるし、負担もないのにあれも欲しいこれも欲しいというのはできないということをより深く質問したほうが良いのではないかと思います。そうしたときに、このような調査では、一項目付け加えるだけで大きく分析の質が向上するということもあるため、ここをよく委員の皆様のお意見を踏まえながら実施していただきたいと思います。</p> <p>本件に関して、こういうような調査を実施するため、先ほど事務局から説明のあったとおり予算を補正するという事です。本件について、御意見、御質問等がありますか。</p> <p>委員  いくつかお伺いいたします。まず、配布部数を5,000世帯に設定した根拠は何でしょうか。また、配布方法は郵送とのことですが、どのくらいの回収率を想定されているのでしょうか。もっと回収率が高くなる方法があるのではないのでしょうか。</p> <p>また、アンケート案を拝見しておりますが、この場では詳細まで確認できませんので、可能でしたら事前に送付いただきたく思いますし、調査項目が多すぎる気がします。もう少し項目を減らしてもよいのではないかと思います。</p> <p>事務局  まず、配布部数は、平成22年度に実施した前回調査での配布部数と同様にしております。配布方法を郵送としたのも、同様の理由となっております。なお、前回調査での回収率は41%程度となっております。</p>
--	--

<p>会長</p>	<p>前回の回収率は、課題分析等に十分有効なサンプル数を集められていると思いますが、これは無作為抽出によるサンプリング調査でした。____委員の方で地区別の調査を実施した事例はございますか。</p>
<p>____委員</p>	<p>近年は、新型コロナウイルス感染症の流行もあって実施できていませんでした。通常の回収率は3割程度だと考えておりましたので、お伺いした回収率は非常に高いと思います。</p> <p>アンケート調査の内容は、後ほど確認し、追加で意見があれば事務局宛てお送りする形でよろしいでしょうか。</p>
<p>会長</p>	<p>統計上、無作為抽出は適切な方法ではあるのですが、このような調査はなかなか実施する機会がないと思いますので、地区の自治会にお願いするとか、学校にお願いするとかして、様々な方法で配布するのもよいのではないかと思います。しかしそうすると、どうしても調査対象の偏りが発生してしまうおそれもあるため、時間があれば検討してみる形でよいのではないかと思います。今後の参考にいただければと思います。</p> <p>内容については、委員の皆様で御意見がそれぞれあることと思います。</p>
<p>____委員</p>	<p>例えば、新型コロナウイルス感染症の影響による公共交通利用実態の変化は調査いただきたいと思います。</p>
<p>会長</p>	<p>各委員そのような意見があると思いますので、この辺のアンケートに関する意見は、できるだけ各委員からいただく必要があるのではないかと思います。時間がないかもしれませんが、せつかくこれだけお金かけてやって、今後の10年を考えるための調査です。先ほども申し上げましたが、一項目付け加えるだけで大きく分析の質が向上するというところもあるということもございます。事務局から、関係者の方々に意見を照会することは可能でしょうか。</p>
<p>事務局</p>	<p>事業計画上、調査を8月から開始としていたため、短い期間ではございますが書面にて御意見を賜りたいと思います。ただ、限られた予算の中で実施するため、全ての御意見を反映できるものではないことを御了承ください。</p>
<p>会長</p>	<p>例えば、現行案で選択肢が5項目となっているところを、6、7項目とするだけでも精度が大きく変わってくる可能性があります。そのため、各委員から多くの意見をいただくことは必要ではないかと思います。また、国土交通省の方でも、実施するにあたっての手引き等があると思いますので、意見をいただければと思います。調査に関して、他に御意見、御質問等がありますか。</p>
<p>____委員</p>	<p>配布地域が市内全域とのことですが、実際に路線バスを利用している方は市</p>

	外にもいらっしゃいますので、そのような方の意見をいただく必要があるのではないかと思います。
会長	現行案では、市内在住の方のみを対象とした調査になっておりますが、市外からの利用者の方を対象とした調査はどのようにしますか。
事務局	市外となりますと、市外への配布部数や配布方法等をどのようにするか悩ましいところがございます。市外からの利用者ももちろんいらっしゃいますが、まずは市民の皆様からの御意見を頂戴することが適切ではないかと考えております。今回の調査は、前回調査との経年比較も実施することから、調査対象の条件を変更するべきではないと考えております。
会長	市外からの利用者の意見についても、把握しておくべきではないかと思えます。そのような場合、同じ手法で周辺市町村に配布することはできないとは思いますが、バスの中で市外からの利用者の意見を聞くことになって、二つのデータを組み合わせることができると思えます。バス事業者様の方で、この機会に調査に協力いただけないでしょうか。
____委員	郊外となると、範囲が広いので、調査方法については労力等を考慮すると協力することは難しいと思えます。
会長	乗客が降車される際に配布とか、そのような方法で御協力いただけないでしょうか。
____委員	会長が提案された方法で実施したこともありますが、回収率が非常に悪いです。精度は低くなるおそれがあります。
会長	サンプル数が少なかったとしても、集めておいた方が良いと思えます。先ほどの新型コロナウイルス感染症関係や、先ほど申し上げた調査方法についてぜひ検討いただきたいと思えます。
____委員	検討はいたしますが、実現は難しいと思えます。
会長	必要なデータだと思いますので、事務局の方でも検討をお願いします。私もよい方法がないか考えます。
____委員	市から学校へお願いして配っていただくことは可能でしょうか。そのほうが回収率は上がるのではないかと思います。

会長	<p>そのような方法でしたら、アンケート用紙を印刷して配布するだけなのでお金もかからないでしょう。特に高校生はマークシートでの回答に慣れていると考えられるため、そのような形式での調査も適当ではないかと思います。</p>
____委員	<p>学生に出すアンケートは、回収できるサンプル数が非常に少ないのが実情です。定期券を支払うのは保護者であり、どちらかという保護者の意向が反映されてしまいます。そのため、高校生等の学生に回答を依頼すると、得られる情報が限られてしまいます。</p>
会長	<p>そういった調査の必要性の有無について、先ほどの____委員からの情報を含めて検討いただきたいと思います。</p>
事務局	<p>会長がおっしゃったとおり、市外から利用されている方のデータをとる必要性があるかどうか、あとは調査の手法、それにかかるコスト等を勘案した上で実施するかどうか検討して参りたいと思います。</p>
____委員	<p>調査項目を増やすようで申し訳ございませんが、平成27年度に水戸市公共交通基本計画を策定し、バス路線の再編等の各種施策を実施してきたため、それらがどれだけ浸透しているか調査する項目を追加していただきたいと思います。例えば、現行のアンケート案では、公共交通を外出に使うとか、買い物に使う、使わないとか、バスが定時に来ない、廃止されたら困るといった選択肢に○付けて終わりになってしまうと思うのですが、実は水戸市ではバス路線を一部再編や、1,000円タクシーの運行など、これまで多くの施策を行ってきました。それらが知られているかどうかを調査しておくべきではないかと思います。</p>
会長	<p>現行計画に基づき実施してきた重点施策の効果を測定する意味でも調査すべきところですね。その辺は事務局の方で考えていただきたいと思います。他に御意見、御質問等ございますでしょうか。</p>
委員	<p>[意見なし]</p>
会長	<p>なければ次へ進めさせていただきます。</p> <p style="text-align: center;"><b>関鉄グループバス共通 IC金額式定期券について</b></p>
会長	<p>続きまして、「関鉄グループバス共通 IC金額式定期券について」、事業者である関東鉄道様から説明をお願いします。</p>
____委員	<p>[会議資料11ページに基づき、____委員から説明]</p>



会長	ただいま____委員に説明いただきましたが、大変面白い事業だと感じました。このような事業は、どこか別の路線バス事業者が実施していたのでしょうか。
____委員	おそらく、都内では実施している事業者もいらっしゃると思います。
会長	利用者の方からするといろんな選択肢があることとなるため、例えば大学での研究としては、金額と乗り換え回数や時間がトレードオフの関係となるかどうかといったことが分析できます。これはかなり貴重なデータとなると思います。関東鉄道様の方で、今後分析はされるのでしょうか。
____委員	現時点では分析の実施は未定です。
会長	大変貴重なデータとなると思います。
____委員	この事業によって、定期券が紙製でなくなったため、社内的には交付事務が簡略化されました。
会長	先ほどの説明では、利用者は3割程度増えたとのことでしたが、今後も利用状況等の推移を注視いただきたいと思います。確かに使い勝手が良いように感じます。ほかに御意見、御質問等ございますか。
委員	[意見なし]
会長	なければ次へ進めさせていただきます。
	<b>路線バス「常磐の杜線」の延伸について</b>
会長	続きまして、『路線バス「常磐の杜線」の延伸について』、事務局から説明をお願いします。
事務局	[会議資料12ページに基づき、事務局から説明]
会長	ただいまの事務局からの説明について、事業者である茨城交通様から補足説明はございますか。
____委員	特にございません。現行の運行ダイヤ等についても変更はなく、運行区間を延伸するものでございます。
会長	ほかに御意見、御質問等ございますか。

委員	[意見なし]
会長	なければ次へ進めさせていただきます。
	<b>茨城M a a S 共通基盤の構築と公共交通運行データ利活用推進の中間報告について</b>
会長	それでは、「茨城M a a S 共通基盤の構築と公共交通運行データ利活用推進の中間報告について」、事業者を代表して茨城交通様から御説明をお願いいたします。
____委員	[別添資料茨城M a a S 共通基盤の構築と公共交通運行データ利活用推進の中間報告について説明資料に基づき、____委員から説明]
会長	ただいまの説明について、御意見、御質問等ございますか。
事務局	事務局からで大変恐縮ですが、日立駅に設置したデジタルサイネージについて御質問いたします。別添資料では、画面の右側に車いすのピクトグラムが表示されておりますが、バスロケーションシステムではノンステップバス等の情報も紐づけて掲載されているということでしょうか。
____委員	ノンステップバス及びワンステップバスを車いす対応車両とし、紐づけて掲載しております。
会長	茨城M a a Sにおいて、どのようなことを目的としているのでしょうか。情報の基盤、情報連携は分かりますが、その先どのようなところまで狙いを定めているのでしょうか。
____委員	最大の目的といたしましては、公共交通の利用促進でございます。1年間取り組んで感じたことは、このサービスを利用される方は観光客が多いということです。地元住民の方々は日常使っているサービスで十分のようで、観光客が多く利用しており、主に使用された期間も、水戸の梅まつりや、国営ひたち海浜公園でネモフィラが開花している時期でございます。 将来的な実現を検討しているのですが、県や各自治体で観光案内を掲載しているウェブサイトにも、現在掲載されている観光地へのアクセス情報に追加して、M a a Sのサービスをリンクさせて、チケットや乗車券も購入できるような形を考えております。 さらに、観光と消費は切っても切れないものだと思っておりますので、クーポン等についても紐づけて、観光、移動及び消費を一体化して利用できるようにし

	<p>てまいりたいと考えております。</p>
<p>会長</p>	<p>例えば、路線バス事業者の間でうまく連携できずに、乗り継ぐための接続が悪くなっている現状がありますが、公共交通細部における現状の不都合の改善について、公共交通事業者様は考えておりますでしょうか。</p>
<p>委員</p>	<p>当然、異なる事業者間の乗継を改善し、最適なルートを設定することは究極の目的でございます。そのためには、それぞれの事業者で考えをすり合わせ、システムの連携をしていかなければなりません。そこは、関係事業者と相談しながら検討してまいりたいと思います。</p>
<p>会長</p>	<p>ヨーロッパでM a a Sの構想が生まれた背景を考えると、環境問題等いろいろな問題があつて、車から公共交通や自転車へ喫緊に転換させなければならぬという考え方があります。そのためには、公共交通や自転車が、自動車より利便性の面で優れていなければなりません。そのため、最終的に、車よりも公共交通を便利にすることを目指すべきだと思います。そのため、茨城M a a Sを実施するならば、現状のデータ連携のみならず、不都合を改善して公共交通の利便性を高めて、自家用車よりも利便性が高く、まちなかの周遊を楽しめるような将来を目指して取り組んでいただきたいと思います。かなり日本では難しいところがあると思うのですが、ぜひお願いしたいと思います。</p> <p>他に御意見、御質問等ございますでしょうか。</p>
<p>委員</p>	<p>[意見なし]</p>
<p>会長</p>	<p>なければ次へ進めさせていただきます。</p>
<p>会長</p>	<p><b>みとM a a S（仮称）について</b></p>
<p>会長</p>	<p>それでは「みとM a a S（仮称）について」、事業者である東日本旅客鉄道様から御説明をお願いいたします。</p>
<p>東日本旅客鉄道 水戸支社</p>	<p>[別添資料に基づき、東日本旅客鉄道水戸支社から説明]</p>
<p>会長</p>	<p>これは東日本旅客鉄道水戸支社が単独で実施している事業なのでしょうか。それとも、連携している事業なのでしょうか。</p>
<p>東日本旅客鉄道 水戸支社</p>	<p>東日本旅客鉄道本社と共同で実施する事業でございます。また、今回導入させていただく4市町様や、茨城交通様をはじめ各交通事業者様とも協議しながら</p>

<p>会長</p>	<p>進めております。</p> <p>せっかくのこのような機会を、水戸市はどのように受け取っておりますでしょうか。</p>
<p>事務局</p>	<p>県央地域9市町村で連携中枢都市圏として検討し、その中で、例えば公共交通のことについて、市町村での連携事業として、M a a Sの研究や、地域間の公共交通、広域ネットワーク等において、9市町村で協議しながら取り組んでいくということを定めたものでございます。</p> <p>M a a Sに関する事業について、今回、東日本旅客鉄道様が始める「みとM a a S」についても、9市町村で参画して、来年実施される茨城DCをきっかけとして、公共交通の利用拡大、観光振興等と合わせて進めてまいりたいと考えております。</p>
<p>会長</p>	<p>このような取組を聞くと、少し明るい気持ちになります。</p>
<p>委員</p>	<p>「T a b i-CONNECT」について、モデルコースや決済機能について記載されております。公共交通の周遊チケットは買えるかもしれませんが、肝心の交通情報や路線バスの運行ダイヤ等の情報がここから読み取れるのでしょうか。</p> <p>現行の掲載情報のみ利用して、結局車で観光地へ行ってしまうのは公共交通としては意味がないと思います。</p> <p>また、後半の資料で、各エリアのモデルコースのところに課題が記載されておりますが、実際に職員が行かれて公共交通を使ってみて、時間があつてない、何時にバスが来るか分からない等の課題を洗い出しているのでしょうか。</p>
<p>東日本旅客鉄道 水戸支社</p>	<p>現在、「T a b i-CONNECT」のシステムの中に、情報プランニング機能というシステムを作成しているところです。この機能では、お客様自身が、掲載されたモデルコースどおり周遊する場合でなくても、いくつか観光地を検索し、オリジナルの周遊コースを設定できるようなシステムを今作っているところでございます。その中で、鉄道やバスの時刻情報がベースとして搭載されます。例えば、笠間市が運行する観光周遊バスの利用時間も把握できるようになっており、設定するコースに対応した周遊きっぷを購入できるようなシステムを目指しております。</p> <p>また、課題につきましても、まだまだ私どもとしても、やるにあたって洗い出して考えているところでございますが、このようなシステムが首都圏を中心にすこしずつ浸透し、お客様が公共交通も利用しやすいと思っただけになるようになって、地域にお金が落ちるようになることで、よりよいスパイラルを生み出せばいいのかなと考えております。</p>

会長	<p>先ほど私が申し上げたことと関連して、ここで「課題」として記載されているところが大事なことであり、課題をしっかりと出して、それでは解決していけばいいわけです。私がさっき言ったことはそういうことで、ぜひ地元の事業者様と御協力して実施いただければと思います。</p> <p style="text-align: center;"><b>令和4年度における1,000円タクシーの運行方針について</b></p>
会長	<p>続きまして、「令和4年度における1,000円タクシーの運行方針について」、事務欲から御説明をお願いします。</p>
事務局	<p>[会議資料13ページに基づき、事務局から説明]</p>
会長	<p>1,000円タクシーに関しては、概ね当初の計画通りに導入できていると思います。その中で、微修正として、利用者数等を見ながら運行内容等を見直しているということです。</p> <p>また、これまで1,000円タクシーと呼んでいましたが、10月からかわいらしい名称とするとのこと。ただいまの説明について、御意見、御質問等ございますか。</p>
委員	<p>料金見直しという点が気になります。現行では1,000円ではなくて500円で、これまでも近いところであれば利用できるということであったのですが、利用者が少なく、収支率が当初の目標より大きく下回っているという実態であると常々伺っておりました。料金見直しにより料金が上がったり、細かい設定となったりするのでしょうか。</p>
事務局	<p>料金の見直しにつきましては、現状、1,000円タクシーを運行している各地区においても様々な傾向がございます。特に、御高齢の方が、朝、通院のために利用されているところが顕著にみられます。従って、昼間時間帯ではあまり利用されておらず、それによって利用者数が伸び悩んでいるところにつながっているのではと考えております。そのため、昼間時間帯に絞って料金を見直そうと考えております。買い物等により利用いただけるような料金体系に見直し、全体的な収益及び利用率を改善していきたいと考えております。</p>
会長	<p>他に御意見、御質問等ございますか。</p>
委員	<p>[意見なし]</p>
会長	<p>なければ次へ進めさせていただきます。</p>

	水戸市内でのシェアサイクルの導入について
会長	続きまして、「水戸市内でのシェアサイクルの導入について」、事務局から御説明をお願いいたします。
事務局	[会議資料14ページに基づき、事務局から説明]
会長	これは、社会実験として特定の期間のみ実施するのではなく、ずっと運営していくということでしょうか。
事務局	5年間の社会実験として実施いたします。
会長	シェアサイクル用の自転車は、指定された5箇所のサイクルポートのみで貸し借り可能ということでしょうか。
事務局	指定の5箇所でのみ可能でございます。
会長	走行箇所の安全性は大丈夫でしょうか。特に国道50号は坂道となっております。電動アシスト付き自転車が走行する場合、大体時速25キロメートル程度だと思われませんが、自転車と歩行者が衝突してしまった際、自転車の重さのみならず、人の重さもかかってしまいます。そのように重いものがスピードを上げて走行すると非常に危険です。安全に走行するという点に関しては、保証されているでしょうか。
事務局	まずこのシェアサイクルは、自由に借りて自由に返却ができるため、比較的まちなかを自由にこまめに使いながらルート設定ができるところが最大の利点ではございますが、例えば今回、弘道館や偕楽園、大工町等で回遊していただくことを主眼としてサイクルポートの設置場所を設定しております。したがって、「こういうルートで回遊してはどうか」というような提案をすとか、あとは安全性に関してはサイクルポートを貸し出すところに安全運転に関する注意喚起といったところを合わせて実施してまいりたいと考えています。
会長	安全に走行できるかどうかといったところを注意して見ていただきたいと思います。今でも国道50号等は、走るところが指定されているものの、現在でも指定場所以外を走行している人がいます。自転車がスピードを出して走行していると、歩行者は非常に怖い思いをします。電動アシスト付き自転車は、特にスピードも出るため、十分見てほしいと思います。
____委員	シェアサイクルは水戸駅北口方面しか設置しないようですが、南口方面はど

	<p>のようにするのでしょうか。</p>
事務局	<p>今回の社会実験に当たり、南口方面については既存の市のレンタサイクルが ございます。こちらは、毎日ではないものの、南口と千波湖の西側を相互に乗り 入れができるものでございます。先ほど、社会実験と申し上げましたが、北口方 面はまずシェアサイクルを導入し、南口方面は既存のレンタサイクルを残し、双 方を比較検証することで、5年後水戸市として最適な自転車の貸し方を検証す るために、南口のレンタサイクルを残しております。</p>
会長	<p>シェアサイクルではなく、市民の方が所有する自転車の駐輪場が資料を見る 限り少ないのではと思いますが、そのような駐輪場の整備はどのようにお考え でしょうか。</p>
事務局	<p>まずシェアサイクルの利点は、例えば15分単位で借りることができ、こまめに 移動することがメインの使い方となります。当然、今回お示した5箇所のサイ クルポートには十分なサイクルラックを設置いたします。</p>
会長	<p>今回のシェアサイクル用の自転車ではなく、市民の方が所有している自転車 のための駐輪場がありません。 ____委員も、困ることがあると思いますがいかがですか。</p>
____委員	<p>まさに今申し上げようとしたところです。</p>
会長	<p>駐輪場でないところに駐車する自転車が増えてきたら困るだろうと思いま す。しかし、駐輪場が非常に少ないのが実情です。____委員はどう思いますか。</p>
____委員	<p>例えば、指定された5箇所では、駐車や貸し借りができるだろうと思いま すが、利用者の行きたい場所は水戸駅前や京成百貨店だけではなく、例えば南町の 商店街だって考えられると思います。 この5箇所からは距離のあるようなお店に行くために、駐輪場を設置するこ とも重要ではないかなと思います。</p>
会長	<p>シェアサイクルをどのように導入していくかは分かりましたが、既存のレン タサイクルはどこかに止められるわけだし、それ以外にも、自身で所有している 自転車についても駐輪できるようにすることが、交通というところを考えた上 でもあるべき姿であると思います。ぜひ考えていただきたいと思います。</p>
事務局	<p>自転車施策の方に及んでくる内容とは思いますが、おとし、市は県庁バスタ ーミナルといった交通結節点にサイクルラックを設置しました。また国道50号</p>

<p>会長</p>	<p>沿いにおいても、大工町等の要所に国土交通省の方でサイクルラック等を整備いただいているところです。御指摘にありました各地点での設置は、そこまで進んでいない状況です。</p> <p>各地点ということではなく、自転車をどう使わせるかということです。自転車の使わせ方の仕組みとかを考えないと、駐輪場の配置もできないだろうと思います。だからその辺りも考えたほうがいいのではないかと思います。</p> <p>東京に行かれた時のことを想像していただきたいのですが、ほとんどが電動アシスト付き自転車です。これは、主婦の方が3人乗りで運転しているのを見ると非常に怖いと感じます。このような光景を見ると何とかしなければいけないと思います。そのようなことが起こらないようにしたいので、社会実験ということできちんと整備いただきたいと思います。</p> <p style="text-align: center;"><b>グリーンスローモビリティについて</b></p>
<p>会長</p>	<p>続きまして、「グリーンスローモビリティについて」、____委員から御説明をお願いいたします。</p>
<p>____委員</p>	<p>[別添資料に基づき、____委員から説明]</p>
<p>会長</p>	<p>____委員からの御説明にありましたが、水戸のまちなか大通り魅力向上検討協議会は官民連携の協議会であり水戸のまちなかが魅力あるものなるように考えていこうということで動いております。</p> <p>そのコンセプトが「挑戦心を育む、コンパクトなまちなか暮らしを取り戻す」ということで、交通だけでなく、まちの店舗やスペースのおける課題等、あらゆる課題を解決することでより魅力的なまちにしていこうということで、今回実験的に、グリーンスローモビリティを導入してみようとなったということです。</p> <p>先ほどもありましたMa a Sやシェアサイクルも、全国各地でいろいろな取組が実施されているところで、環境問題等いろいろなところから脱車社会について考えようというところですが、実際にやってみないと人々の反応もわからないと、私は考えております。実際にやってみた結果、考えてみるとこちらの方がいい面もあるのではないかと、なる場合もあります。そこで、一つの手法として、グリーンスローモビリティを導入してみようということだろうと思います。</p>
<p>____委員</p>	<p>今回導入する車両は、第一種普通免許があれば運行できるのですが、利用者の方は、運転する間の安全性を気にされることと思います。そのため、運転士については、茨城県ハイヤー・タクシー協会様の協力をいただき、社会実験期間中において、運転士を派遣いただけることとなりました。</p>



会長	<p>まちなかの魅力向上が様々な形で行われております。それも、今までのように官、民単独での、今までのやり方でダメだったところを、新しい仕組みややり方取り組んでいこうというものです。この協議会は、当会議の委員の皆様も何かありましたら是非ご協力いただきたいと思います。これが、10月くらいに社会実験として運行されますので、お願いすることもあると思いますし、個人的に御興味がありましたら、参加いただきたいと思います。</p>
____委員	<p>時速20キロメートルから30キロメートル程度でまちなかを運行すると、追いつ越しが発生するなど他の交通への影響が想定されます。市民からの苦情も一つの実験の結果であり、調査の一つの項目であると思いますので、そういった寄せられた声というものを警察としてはある程度まとめて報告すべきだとは思いますが。その報告については、どのような感じでまとめて報告する予定でしょうか。</p>
会長	<p>ただいまの件に関しては、当会議ではなく、水戸のまちなか大通り魅力向上検討協議会の担当者とお話しいただければと思います。</p>
<p><b>5 その他</b></p>	
会長	<p>全体を通しまして、____委員から、御意見等ございますでしょうか。</p>
____委員	<p>バス交通実態調査でのアンケート案について、バス事業者様からも意見がありましたとおり、事務局が非常に多くの資料を当日配布しましたが、できれば事前に送付いただければありがたいと思われました。</p>
会長	<p>事務局が委員の皆様にご相談すれば、我々も一緒に考えますので、事務局のみで全て取り組むのではなく、委員の皆様事前に送付し、御意見をいただくようにすることで、委員全員で考えていければと思います。</p>
____委員	<p>2つお話しさせてください。まず、水戸市議会報では質疑応答に係る記載の中で「通学バスを支援する」とありました。小学生でバスを利用している人が約300人いる中で、もちろん通学専用のバスも運行されています。</p> <p>前回の議会では河和田小学校を経由する路線バスを廃止するという話もございましたが、市議会でそのような質問があつて支援するというような話があつたのでその件についてお伺いしたいです。</p> <p>また、大工町のバス渋滞について、バス専用レーンが黄色く塗装されている箇所では、自動車は走行してはいけないと運転手も理解するようなのですが、自由ヶ丘から水戸駅方面へ運転している際、この道路は2車線となっており、左側がバス専用レーンのため、右側を走行するのですが、中には左側を走行し、大工町の交差点から右側のレーンへ車線変更する人もいます。真面目に右側を走行し</p>

	<p>ているのが損をするという意見も聞いております。そのような状況について、見解をお聞かせください。</p>
事務局	<p>路線バスについては、例えば、以前山根小学校を廃止して双葉台小学校に統合されましたが、このようなケースについては学校側の方でスクールバスを運行しております。それ以外の学校の通学に関しては、各バス事業者において運行していただいております。</p> <p>河和田小学校を経由する路線バスについては、昨年度、茨城交通様から当該系統を含めた3系統の廃止についてお話がありました。昨年度、河和田小学校を経由する系統を存続させることを報告させていただいたところです。その後の経過といたしまして、水戸市及び茨城交通様との協議の方で、廃止を見送っていただいたところです。</p> <p>大工町の渋滞のことは、こちらは何とも申し上げられません。</p>
____委員	<p>通学児童のバス通学の支援をしたいというのは、河和田のバスの廃止を見送っただけではなくて、そのほかについても支援を考えているというこの名のではないかと思ったのですが。大工町の渋滞の件については、水戸警察署の方で何か対策されていたりするのでしょうか。</p>
会長	<p>大工町での渋滞のことは、以前バス専用レーンを守るようになったと本会議で伺っておりましたが、最近また守られなくなっているのでしょうか。警察の方で取締り等は実施しているのでしょうか。</p>
____委員	<p>特段把握しておりませんでした。積極的にバス専用レーンの取締り等を実施しておりませんが、そのような意見が警察に寄せられている現状はありません。今回いただいた御意見について、内部で共有してから検討して参りたいと考えております。</p>
会長	<p>____委員から言われたような現状があるというならば、警察と事務局の方で、実態を把握するようにしてください。</p> <p>それから、通学バスの支援についてですが、書面協議ですが当会議で諮っております。その際に私が申し上げたのは、支援がどこまで広げることができるかということです。</p>
____委員	<p>河和田小学校を経由する路線バスに限らず、通学で利用されている路線バスの支援を検討しますと議会で報告があったそうなので、具体的にどのような支援をするのか気になったところです。</p>
会長	<p>私が申し上げたのは、その支援が通学バスのみならず、支援を求められること</p>

事務局	<p>が今後起こってくるのではないかということでした。やはりどういう時に支援するのかというのをあらかじめ考えておかないと、やり方が厳しくなってしまうと思います。ただその時に、水戸市の方で通学バスの方で、これ以上増えないということだったと思うのですが。</p> <p>昨年度河和田小学校経由の系統に関する議論があった際に、市内の小学生がどれだけバス通学をしているか調査をいたしました。その中で、当面廃止の議論が起こりうる系統は、河和田小学校経由の系統のみでしたので、他の学校については、現在のところ問題ありません。</p>
会長	<p>その件はいいとしても、バス利用者が少ない場合の行政支援の可能性が考えられるのであれば、早めに検討していかなければいけないと思います。そういった際には、国の考え方等にもかなり踏み込んでいただきたいともいます。</p> <p>それでは、本日の会議は以上とします。進行を事務局にお返しします。</p> <p>[閉会の挨拶]</p>

上記に相違ないことを確認します。

議事録署名人

東日本旅客鉄道株式会社水戸支社総務部企画室

---

鹿島臨海鉄道株式会社

---